

# ビーチパーティーの21

メス 2021年2月12日生 | 黒鹿毛 | 園田・保利良平厩舎 | 奥山ファーム生産



一口価格：17,600円 ※地方募集馬は競走馬保険の加入はありません 募集口数：500口【競走馬出資金総額 880万円】



## POINT

牝馬ながら見栄えのする馬体は父由来のボリューム感ある筋肉によるもので、牡馬と見紛うほどです。その姿はGI (JpnI) を10勝し、7歳までダート戦線を引っ張ってきた父ホッコータルマエを彷彿とさせます。父の産駒はまだデビュー3世代ながら既に重賞馬を輩出し中央地方を問わない活躍で、ダート種牡馬として確かな存在感をはなち始めています。母はJRAで2勝をあげており、祖母ビーチフラッグは地方重賞で活躍している血統背景からも、兵庫の地での大きな活躍を予感させます。好調のトレーナーと共に園田から大きな舞台を目指します。

## 治郎丸敬之の馬体診断

馬産地で人気を誇る種牡馬ホッコータルマエ。サンデーサイレンスの血を一滴も持たない血統構成やキングカメハメハの後継者としては手頃な種付け料、そしてホッコータルマエ自身にダートの鬼として中央・地方競馬を問わず長く走り続けた図抜けた実績があります。もちろん何と言っても、産駒たちは総じて筋肉量が豊富で、見栄えのする馬体に成長することも生産者にとっては魅力的ですね。ビーチパーティーの21はホッコータルマエ産駒としては、馬体がスラリとして、胴部には伸びがあり、ややピリッとしたところがあるように、母の父ゼンノロブロイの特徴が強く出ているようです。キングカメハメハ自身もそうでしたが、キングカメハメハの後継種牡馬も母系の良さを引き出すタイプが多く、ホッコータルマエにもそういう面があるのかもしれない。サンデー系の種牡馬はどうしても自分自身を強く主張するのに比べ、非サンデー系の種牡馬は控え目であり、結果としてサンデー系の特徴が表に出してしまうのだと僕は解釈しています。この先、同馬は母系のピリッとしたところは残しつつも、成長と共に筋肉量が増えてふっくらとしてくるでしょうし、父同様にダートの中距離路線を末永く走り続けてくれるのではないかと期待します。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。